

総務政策委員会記録

開会年月日	令和5年8月30日
開会時刻	午前9時57分
閉会時刻	午前10時22分
出席委員名	◎岡田善行 ○大西要一 川口 浩 久保 真
	鈴木豊司 西山則夫 浜口和久
	品川幸久 議長
欠席委員名	なし
署名者	川口 浩 久保 真
担当書記	中谷圭佑
審査案件	継続調査案件 公共施設マネジメントに関する事項 ・公共施設マネジメントの進捗状況について
	継続調査案件 総合計画推進事業に関する事項 ・第3次伊勢市総合計画・中期基本計画の進行管理について
説明員	総務部長、総務部参事、職員課長
	危機管理部長、危機管理課長
	情報戦略局長、情報戦略局次長、企画調整課長
	資産経営部長、資産経営部参事
	消防長、消防本部次長、消防本部参事
	その他関係参与

審査経過

岡田委員長が開会を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に川口委員、久保委員を指名した。その後、直ちに議事に入り、継続調査となっている「公共施設マネジメントに関する事項」外1件を議題とし、当局から報告を受け、質疑の後、引き続き調査を行うことを決定し、委員会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前9時57分

◎岡田善行委員長

ただいまから総務政策委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立をしております。

これより会議に入ります。

会議録署名者2名は委員長において、川口委員、久保委員の御兩名を指名いたします。

本日御協議願います案件は、御手元に配付の案件一覧のとおりであります。

議事の進め方につきましては委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

◎岡田善行委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

【公共施設マネジメントに関する事項】

〔公共施設マネジメントの進捗状況について〕

◎岡田善行委員長

それでは、「公共施設マネジメントに関する事項」についての御審査を願います。

「公共施設マネジメントの進捗状況について」当局から説明をお願いします。

資産経営部参事。

●丸山資産経営部参事

それでは、公共施設マネジメントの進捗状況につきまして、御報告申し上げます。

資料1の1ページを御覧ください。施設類型別計画につきましては、6月7日に開催された総務政策委員協議会におきまして、令和4年度末の状況を御報告申し上げたところでございます。本日は、その後の新たな動きにつきまして御報告を申し上げます。

まず1、令和5年度を取組状況、(1)市民活動センター施設の方向性を見直しについてでございます。このことにつきましては、資料のとおり、令和5年7月3日開催の総務政策委員協議会で御協議いただいたとおり、現在担当課におきまして、その実施に向けて取組を進めているところでございます。

次に、(2)令和5年度に取組が完了した施設でございます。こちらは、本年7月31日までの間に、取組が完了した施設と、それによる更新等費用削減額の一覧表でございます。

これらの施設は、令和5年4月1日に二見町の小中学校や保育所を光の街へ移転統合したことによるもので、合わせて約46億円の更新等費用削減となりました。

次に、(3)考え方の整理により完了とした施設でございます。計画における取組完了の考え方につきましては、これまで委員の方から御意見を頂戴しておりましたので、その考え方を検討いたしました。その結果、用途廃止により、普通財産化した建物、こちらを取組完了といたしました。このことから、計画に記載の各施設を確認したところ、今回新たに、資料に記載の6施設が取組完了となりました。これらの施設は全て用途廃止し、現在は学童保育に貸付けているもので、合わせて約6億4,000万円の更新等費用削減となりました。

次に、資料2ページをお願いいたします。2、これまでの進捗状況、(1)取組の進捗状況でございます。表は、現在取組を進めている施設の現況を、庁内で協議中、関係者と協議中、事業実施中及び取組完了の4つの区分に分け、その件数を表したものでございます。表の右端にある増減の欄を御覧ください。これは、本年7月31日現在と令和4年度末現在との比較となっております、3行目の事業実施中では4件の減少となっております。これは、資料1ページの1、(2)で御報告申し上げました二見町の小中学校等の4件が取組完了となったことによるものでございます。その下の取組完了において10件増加しておりますのは、先ほどの4件と、資料1ページの1、(3)で御報告申し上げました6件の合計でございます。表の1番下、合計欄の6件増加につきましては、資料1ページの1、(3)で御報告申し上げました6件を追加したことによるものでございます。

次に、(2)抑制される更新等費用を御覧ください。今年度に取り組完了となりました10件と、それに伴って新設した施設の費用を差引きしまして、新たに12億9,029万6,000円抑制することができましたので、合計で87億9,458万2,000円を抑制することができました。続く①は、更新等費用抑制額の算出根拠となります更新等費用削減額の内訳で、資料3ページの②は、新設した施設とその費用の内訳でございます。

最後に(3)更新等費用抑制額の達成状況でございます。令和4年度までの実績に令和5年度の実績となる約13億円を合計しまして、累計で88億円となり、計画値である460億円の19%となりました。

なお、今回御報告いたしました更新等費用削減額や新設費用は、計画に対する達成状況を見るため、計画時に採用いたしました総務省の更新費用試算ソフトにより算定した金額としておりますのでよろしくお願いをいたします。

以上、公共施設マネジメントの進捗状況につきまして御報告申し上げます。よろしくお願いをいたします。

◎岡田善行委員長

ただいまの説明に対して、御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御発言もないようですので、説明に対するの質問を終わります。

続いて、委員間の自由討議を行います。

御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御発言もないようですので、自由討議を終わります。

以上で「公共施設マネジメントの進捗状況について」を終わります。

「公共施設マネジメントに関する事項」につきましては、引き続き調査を継続していくということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御異議なしと認めます。本件については引き続き調査を継続いたします。

【総合計画推進事業に関する事項】

〔第3次伊勢市総合計画・中期基本計画の進行管理について〕

◎岡田善行委員長

次に「総合計画推進事業に関する事項」についてのご審査を願います。

「第3次伊勢市総合計画・中期基本計画の進行管理について」当局から説明を願います。企画調整課長。

●中内企画調整課長

御説明に入らせていただく前に、資料の訂正をお願いいたします。資料2-4、モニタリング指標を御覧ください。ナンバー16、伊勢市に自分のまちとしての愛着、魅力を感じていると思う割合でございますが、令和4年度の数値を76.5%と記載しておりますところ、83.3%に修正をいただきますようお願いいたします。大変失礼いたしました。

それでは、「第3次伊勢市総合計画・中期基本計画の進行管理について」御説明申し上げます。

お手元の資料2-1を御覧ください。本件につきましては、令和4年7月に策定しました中期基本計画について、計画期間の初年度となります令和4年度が終了したことから、その進捗状況等について御説明申し上げるものです。

進行管理の目的につきましては、1、目的に記載のとおり、毎年度各施策における課題解決の状況や社会環境等の変化、事業や取組の進捗、効果等の整理・評価を行うことで、最適な事業の立案や見直し等を図りながら計画を推進することとしております。

次に、進行管理の概要でございます。2、概要に記載のとおり、(1)分野横断課題としております8つの課題、また、(2)分野別計画における8つの分野について、令和4年度の進捗状況等を整理・評価し、それを踏まえた今後の方向性を記載しております。

いずれにおきましても、個々具体の取組等の評価ではなく、課題や施策を単位として、その概況や方向性について整理したものでございます。

裏面を御覧ください。(3)モニタリング指標につきましては、施策等を検討するに当たっての基礎資料として設定したもので、令和4年度の数値を整理してございます。

次に、各資料の見方について御説明いたします。資料2-2、分野横断課題の状況の1ページを御覧ください。

基本計画に掲げる分野横断課題ごとにシートを作成しております。上段の現況・課題及び中段の取組方針につきましては、中期基本計画に記載している内容でございます。下段の主な取組・成果及び今後の取組の方向性につきましては、課題に対する令和4年度の取組実績や令和4年度の取組・成果を踏まえた今後の方向性を記載しております。

次に、資料2-3、分野別計画の状況を御覧ください。基本計画に掲げます自治・人権・文化、防災・防犯・消防など8つの政策分野ごとにシートを作成しております。中段の四角、施策評価では、施策ごとに令和4年度の進捗状況についてA、B、Cの3段階で評価を行い、その右側に評価の根拠となります令和4年度の取組・成果を、さらに右側には、今後の取組の方向性を記載しております。

中下段の四角、目標指標の進捗状況では、中期基本計画で定めた指標の令和4年度の実績値を記載し、それに基づき、進捗状況をA、B、Cの3段階で評価しております。その右側の進捗状況に対する説明において、数値が増減した要因等について記載しております。

1枚おめくりいただきまして、3ページの評価一覧表を御覧ください。①で、施策と目標指標それぞれの評価の分布をまとめております。表の右側の目標指標の列を御覧ください。目標指標につきましては、Aが54.9%、Bが17.6%となっており、約7割が達成・改善となっている一方、Cが27.5%となっており、改善が進まなかったものもございました。また、表の左側の施策評価の列を御覧ください。施策につきましては、Aが38.2%、Bが52.9%と評価しており、全体の約9割が「進んだ」または「おおむね進んだ」と評価しております。

資料2-4、モニタリング指標を御覧ください。こちらにつきましては、先ほども説明いたしましたとおり、施策等を検討するに当たっての基礎資料とするものでございますので、本日の協議におきましても御参考としていただければと思います。

戻りまして、資料2-1の裏面をお願いいたします。各所管別対象箇所を御覧ください。こちらにつきましては、各資料について各常任委員会及び協議会の所管を整理した表でございますので、御参照いただければと存じます。

以上、「第3次伊勢市総合計画・中期基本計画の進行管理について」御説明申し上げます。何とぞ御協議賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎岡田善行委員長

ただいまの説明に対しまして、御発言はございませんか。

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

1点だけお聞かせ願いたいんですが、37ページのですね1番下の段、行政組織力の中で、今後の取組の方向性というところで、職員による防災士の資格取得という記載があるんですけど、これ現状とですね、どの程度職員の方が資格を持ってみえるのか、またこれからどういう方向で進まれていくのか、それを説明お願いできないですか。

◎岡田善行委員長
危機管理部長。

●日置危機管理部長

この防災士につきましては、現在四日市大学のほうに出向きましてですね防災士、現在6名が取得に行っておるわけなんですけれども、現在、全体がですねどれほど取ってるかという情報はないんですが、だんだんこういうふうな形でですね、防災士を増やしていきたいとそういうふうに考えております。

◎岡田善行委員長
鈴木委員。

○鈴木豊司委員
6名の方は全て危機管理の所属ですか。

◎岡田善行委員長
危機管理部長。

●日置危機管理部長

全体的にですね、今後広げていきたいと思っておるわけなんですけれども、現状、危機管理部で取っていない職員が6名おりましたので、今後ですね、他の部署にもそれを広げていきたいとそうように考えております。

◎岡田善行委員長
他にございませんか。
川口委員。

○川口浩委員
23 ページの目標指標の進捗状況のところの、3の消防・救急のところなんですけれども、建物火災で消防隊が現場到着してから放水を開始するまでの所要時間というところで、令和4年度の実績が、目標値の3.0分に対して、2.6分となっています。

令和3年度は1.8分ということで、若干時間がかかるようになっているのかなというふうに私は見たんですが何か原因だとか、考えられることがあれば教えていただきたいんですが。

◎岡田善行委員長
消防本部参事。

●山下消防本部参事

委員の質問にお答えをいたします。この指数につきまして2.6分につきましては、対象

となる令和4年度の火災件数42件のうち、建物火災24件、このうちで放水に至った9件の、総合時間23分の平均時間を出したものでございます。

前年度に比べて、建物火災現場到着にかかった時間、放水までに至った時間が、火災が発生する場所、あとは水利等により時間の延長になったものだと思います。以上でございます。

◎岡田善行委員長

川口委員。

○川口浩委員

火災の発生場所が消防署から遠かったっていう。そういう、簡単なというか理解でよろしいですかね。

◎岡田善行委員長

消防本部参事。

●山下消防本部参事

現着から放水に至るまでの時間を3分以内というふうに定めているんですが、現場において建物火災が発生した場所から、水利が遠い、また水利からのホース延長の時間を要した等の要因が考えられると思っております。以上でございます。

◎岡田善行委員長

川口委員。

○川口浩委員

正しく理解しました。失礼しました。

もう1点あるんですが、37ページの施策評価の2、行政組織力のところなんですけれども、職員のプロ意識を向上させ行政全体の組織力強化を推進しますとあります。取組として、ここでも議論しましたが、定年引上げに関する制度構築を行った等の記述があります。そして評価でAという評価がついています。

これ、令和4年度についてなんですけれども、例えば今後、令和5年度ですね、この間、職員の方の不祥事などが相次ぐという残念なことがありました。

それはあくまで、個人的な事情というふうに見ることができなくもありませんし、市職員、市役所全体の行政組織力の評価につなげるというのは乱暴なのかもしれませんが、例えば来年度の評価を行う際にですね、また引き続きこれAという評価になってくるのかどうか。何か市民目線で見ますと、信頼される職員組織づくり等という項目もあって、ちょっと若干違和感も感じてしまうんですが、その辺どうお考えでしょうか。

◎岡田善行委員長

職員課長。

●上田職員課長

手法としましては、今のところ、市民の方の窓口とかそれから電話での対応に対しての評価ということにつけさせていただいておりますけれども、当然そういう部分でつけさせていただいておるんですけども、そういう部分も含めてね、やっぱり、今回のいろんな不祥事、その部分で厳しい評価をいただくことがあるのかなとは思っております。

それから、当然こういう不祥事がありましたので、職員に対しては服務規律、その徹底をさせてもらって、市民の信頼回復、それに努めていきたいと思っております。以上でございます。

◎岡田善行委員長

川口委員。

○川口浩委員

方向性については、性善説でつくっていただいているのは理解はできます。

ただ、今後特に、定年引上げに関するところもあったんですけど、実際の運営の中で、その若手中堅の方の職員のやる気ですとか、志というものを生かして働けるような、組織づくりということに心がけていただければと思います。意見になってしまいましたが、以上です。

◎岡田善行委員長

他にございませんか。

浜口委員。

○浜口和久委員

このモニタリング指標、資料2-4ですね。この中で少し気になる部分がありまして、15番、16番、17番、自治会加入率、それから伊勢市に自分のまちとしての愛着、魅力を感じていると思う割合、そして伊勢市に住み続けたいと思う市民の割合、こういったものが令和3年度と比べて全部マイナスになってきております。

この2-3の資料のですね、3ページを見させていただきますと、地域コミュニティというふうな部分の中で、地域活動に参加したい市民の割合、こういったものもCでございます。

職員の皆さんね、まちづくり協議会ができて、何ていうんですか、管理職の人たちはみんなそこへ張りついていただいているというふうな形で思っております。そしてこの7ページの表を見させてもらいますとですね、いろいろと市として事業を進めていただいているというふうな感じで思うんですが、全部何かこうマイナスに、事業をしていただいているのにマイナスに進んでしまっているというふうな状況があります。

ここら辺のところを職員の方々はどのような思いでしょうか、ちょっとお聞かせください。

◎岡田善行委員長
市民交流課長。

●小林市民交流課長

今回モニタリング指標のところから私のほうでお答えさせていただくんですけども、今おっしゃっていただいたように、管理職、課長級以上ですね、こちらについてはまちづくり協議会のほうに地区担当者ということで配置をしておりますが、改めてですね、職員向けにも、今後の地域で活動できる人材育成ということを目標にもしておりますので、改めて職員研修を始めたところでございます。地域での活動の重要性を認識してもらおうと、そういった趣旨から始めたところでございます。以上です。

◎岡田善行委員長
浜口委員。

○浜口和久委員

ここは物すごく大事なところかと思うんですよね。地域コミュニティーがだんだんこう盛り上がってきてというふうな状況になってきたらいいんですけども、自治会の加入率なんか低下しているというふうな状況ですが、強制はできない、しかし入ってくださいとお願いというふうな部分ができると思います。

そういった状況の中で、やっぱり自治会に加入してない方が増えてくるとですね、総会とか、会議には出てこないの、自治会の中で決まったことがそこへ流れていかない。

そうするとその決め事を決めたというふうな団体とですね、入ってない人たちの間に差ができてきて、ルールというのは無視はしてないと思うんですけども、マナーというふうな部分で温度差がすごく出てくるというふうな状況が出てきます。

先ほど職員の方々への研修をもうやっとなというふうな状況でございますが、ちょっと1例どんな状況で研修しとるかという例があれば、お話ができればしていただきたいと思っております。聞かせてください。

◎岡田善行委員長
市民交流課長。

●小林市民交流課長

今回させていただいた研修については、地域の状況それから、20年後の人材確保というこの目標の説明から入らせていただいて、職員の皆さんには、通常のプライベートの時間、それから、業務、公務としてする仕事の部分ですね、その間に地域活動という、プライベートにもかかりますけども、業務上経験を積んでいく上でも、地域活動の必要性ということを再認識していただくと、そういったことを改めてお伝えさせていただいたと、そういう内容でございます。以上です。

◎岡田善行委員長

よろしいですか。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御発言もないようですので、説明に対しての質問を終わります。

続いて、委員間の自由討議を行います。

御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御発言もないようですので自由討議を終わります。

以上で「第3次伊勢市総合計画・中期基本計画案の進行管理について」を終わります。

「総合計画推進事業に関する事項」につきましては、引き続き調査を継続していくことで御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎岡田善行委員長

御異議なしと認めます。

本件については引き続き調査を継続いたします。

以上で、本日御審査願います案件は終わりましたので、これをもちまして総務政策委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時22分

上記署名する。

令和5年8月30日

委員長

委員

委員